

# 平成29年度 自己評価および学校関係者評価書【1学期】

玖珠町立八幡中学校

## 1 本年度の教育目標

ともに考え、ともに伸びる

## 2 本年度の重点目標

学力の保障  
自己有用感の向上  
生活習慣と運動習慣の確立

## 3 評価結果

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	評価指標	達成状況・成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価	
学力の保障	○「意欲を持って授業に参加する」生徒の割合を100%にする。 (4:100% 3:88%以上 2:60%以上) 【1学期=96.7%】	・生徒指導の3機能を生かした授業作りをすすめる。	・授業中1回は、ペア学習やグループ学習を取り入れる。	生徒アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア、グループ学習を取り入れた教職員87.5%</li> <li>・ペア、グループ学習が楽しいと思う生徒91.3%</li> <li>・学力向上につながるパープルタイムに取り組んでいる教職員100%</li> <li>・パープルタイムを有意義だと感じている生徒91.3%</li> <li>・家庭学習90分以上取り組むような指導ができていない教職員100%</li> <li>・家庭学習90分以上取り組んでいる生徒91.3%</li> <li>・学校は授業を工夫しわかりやすい授業をしていると感じる保護者100%</li> <li>・ノーメディアウィークの取組で学習に集中できる環境を確保した保護者85.7%</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組指標に基づく教職員の取組は十分（職員の意識改革がすすんでいる）。</li> <li>・生徒の授業に対する意欲化。</li> <li>・保護者の授業に対する肯定的評価。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パープルタイム、ノーメディアウィークの取組のマンネリ化。</li> <li>・学力の保障（理解させ、習熟させ、定着を確認するまでが教職員の責務）</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア、グループ学習の効果的な活用の推進</li> <li>・パープルタイムの取組の工夫</li> <li>・学力保障のための具体的な方策の推進 ＝個別指導の時間の確保 ＝授業内での補充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種学力テストの面で、大きな成果が上がっている。</li> <li>・個に応じた指導に取り組んでいることがすばらしい。</li> <li>・家庭学習も方法をさらに指導していったほしい。</li> </ul>	
	○各種学力調査において4割以下の生徒を0%にする。 (4:0% 3:13%以下 2:30%以下) 【全教科4割以下】【1学期=1%】	・パープルタイムを充実させる。	・全職員が個別指導を行う。	職員アンケート					4
	○「ほぼ毎日90分以上家庭学習をしている」生徒の割合を80%以上にする。 (4:80%以上 3:68%以上 2:52%以上) 【1学期=91.3%】	・家庭学習の定着に向けた指導を行う。	・90分以上の学習時間ができているかどうか把握する。 ・宿題ができていない場合は、その日のうちに学校で仕上げさせる。						4
自己有用感の高揚	○「自分は周り（友達、先生、家族）から認められている」と感じる生徒の割合を100%にする。 (4:100% 3:88%以上 2:60%以上) 【1学期=87%】	・短学活で生徒が自己有用感を感じる場をつくる。	・短学活の中に、「お互いを認め合う場」「自分のがんばりが評価される場」をつくる。	生徒アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短学活の中に認め合う場を作った教職員100%</li> <li>・短学活で生徒のがんばりを評価した教職員100%</li> <li>・短学活がお互いを認め合う場になっていると感じる生徒87%</li> <li>・短学活で自分のがんばりを評価されたことがあると感じる生徒87%</li> <li>・生徒に対する積極的評価に取り組んだ教職員100%</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組指標に基づく教職員の取組は十分</li> <li>・短学活の有効な活用。</li> <li>・「学校が楽しい」と感じる生徒の増加</li> <li>・生徒会活動や行事の充実</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己有用感のさらなる育成</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校授業（人権・保健）の推進</li> <li>・各学年ごとの取組（教科・総合）の発表、交流</li> <li>・リーダーの育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いを認め合う場を設けることで、子どもたちがやる気を出している。</li> </ul>	
	○「友達の役に立ててうれしい」「家族の役に立っている」と感じる生徒の割合を100%にする。 (4:100% 3:88%以上 2:60%以上) 【1学期=95.7%】	・生徒主体による生徒集会や行事を充実させ、自己表現活動の機会を増やす。	・月に一回程度、生徒を主体にした生徒集会を開催し、積極的な評価をしていく。						3
生活習慣と運動習慣の確立	○「元気よく友達（家族・地域）にあいさつをしている」とする生徒の割合を100%にする。 (4:100% 3:88%以上 2:60%以上) 【1学期=95.7%】	・あいさつや声かけの励行。	・年間を通してのあいさつ運動、授業参観。	生徒アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会主体のあいさつ運動の実施</li> <li>・う歯の保有者2名（前年度7名）</li> <li>・大分県中学総体出場者9名（バレー3名、陸上6名）</li> <li>・郡陸上大会に向けた練習会参加者20名（バレー部を除く全員が参加）</li> <li>・食育授業の実施（1学期1回）</li> <li>・生活習慣アンケートの実施</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登校時のあいさつなど、意識が高まっている。</li> <li>・給食後の歯磨きは全員が取り組んでいる。</li> <li>・各種運動大会での成果</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全保護者や地域とのさらなる信頼関係の構築</li> <li>・休みの日の過ごし方など意識の高揚が必要</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯磨き以外の保健指導の取組導入</li> <li>・自主的な運動習慣の確立</li> <li>・規則正しい生活習慣の確立（早寝早起き朝ご飯等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は地域でも元気のよいあいさつを行っている。</li> <li>・小さな学校から県体にたくさんの出場者がありすばらしい。</li> </ul>	
	○「運動することは自分のためになる」とする生徒の割合を100%にする。 (4:100% 3:88%以上 2:60%以上) 【1学期=91.3%】	・八中チャレンジをベースにした体力向上。 ・生徒を主体とした保健活動や授業の設定。	・部活時のランニング及び筋力トレーニング。 ・年間を通して保険・安全に関する全校授業の実施。	生活習慣アンケート					3
	○「自ら考えて健康的な生活をしている」とする生徒の割合を100%にする。 (4:100% 3:87%以上 2:74%以上) 【1学期=87.5%】	・家庭内での健康的性格の実感	・治療が必要な項目に対する完治率100%						3